特集 登下校安全対策アンケート

近年、子どもを狙った犯罪や登下校中の痛ましい事故がニュースでも取り沙汰され、子どもを守る安全対策に注目が集まっています。松江市PTA連合会では、安全対策の取り組みについて、松江市内の小中学校にアンケートを行いました。我が子の通う学校の取り組み、他の学校の取り組みを知っていただき、子どもの安全を考える機会となることを願っています。

アンケートご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

PTAが主体となって取り組んでいる活動

中学校

《多かった意見》
●交通安全指導　●見守り活動

《各校の取り組み》
●年4～5回下校時の見守り活動を行っている。特に危険な箇所に立ち、あいさつも含めて声がけをし、生徒の交通安全に対する意識を高めると共に、マナーを身につけてほしいという思いでいる。（湖東中）

PTA校外生活部による下校指導（松江一中）

小学校

《多かった意見》
●通学路危険箇所調査
●あいさつ運動
●危険箇所マップ作成

《各校の取り組み》
●一人ひとり立ち運動：全保護者が年に2回、朝の通学路に立ち、あいさつ運動をすると共に横断歩道の様子や集団登校の指導をする。（意東小）
●2009年に「地域の安全を見直そう」マップをPTA広報部が作成。今年7月、児童や地区委員が点検した通学路の危険箇所の最新情報をもとに、改訂マップを作成し配布した。作成にあたっては、登下校の見守り隊の「ほんそご守ら会」や青パトの方、そして川津交番の方など多くの方々のご協力をいただき完成した。（川津小）

「地域の安全を見直そう」マップ（川津小）

学校が主体となって取り組んでいる活動

中学校

《多かった意見》
●交通安全教室　●登下校での交通安全指導（自転車の乗り方）

《各校の取り組み》
●毎朝の正門や東門であいさつ指導の中で自転車の乗り方などについて声かけを行っている。（附属中）
●新入生を迎える4月は、通学路の主要な交差点において指導にあたっている。この他に4月に1年生対象の自転車安全教室、昨年度は11月にスタントマンによる実演を含めた交通安全教室を全校生徒を対象に実施した。（湖南中）

スタントマンによる実演を含む交通安全教室（湖南中）

小学校

《多かった意見》
●通学路安全点検　●登下校指導　●集団登下校

《各校の取り組み》
●徒歩通学登校路については、春・秋交通安全運動期間中は毎日、他の月は3回、通学路に教員が立ち、児童の見守りと安全指導を行う。（島根小）
●年3回の下校指導（秋鹿小）
●1年生と2年生の地区ごとの集団下校（通年）（来待小）

下校指導（秋鹿小）

地域の方々が主体となって取り組んでいる活動

中学校

《多かった意見》
●あいさつ運動　●見守り活動

《各校の取り組み》
●通学見守り隊（東出雲中）
●「八雲の子どもを守る会」による、登下校時の継続的な見守り活動（青色パトロール等）。（八雲中）
●湖南中学校区の保幼小中高大では地域で連携して、毎月第3水曜日の朝、挨拶運動を行っている。（湖南中）

小学校

《多かった意見》
●登下校時の見守り　●パトロール活動

《各校の取り組み》
●毎週金曜日に青色回転灯装備車によるパトロール。（中央小）
●「青パト隊」をたち上げ、朝・夕の通学時間帯を中心にパトロールを行ってもらっている。（本庄小）
●大庭地区の諸団体が当番制で見守り防犯パトロールを児童の下校時、また児童クラブの子どもを対象とした夕方パトロールを実施。小学校、PTAも当番日には地区内の見守り、通学路に立哨して安全を見守る活動に参加している。（大庭小）

その他の取り組み

PTA主体

●「地域部たより」の発行：6月と10月に実施される街頭指導の結果をまとめ、7月と12月に配布（東出雲中）
●7月初めに地区懇談会を開催し、危険箇所について洗い出しを行っている。危険箇所については危険であることが解る様、看板の設置を行っている。（来待小）

学校主体

●学校、PTA、地域の方々による街頭指導：ジャンパー、タスキ、旗などを使用し、市民の方々へPR。（揖屋小）
●低学年の下校時に担任が最寄りの場所まで付き添う。（津田小）

地域主体

●大雪の際、通学路の除雪作業（秋鹿小）
●川津交番の方のパトカーでの巡回（川津小）

市P連情報発信

第1回母親委員会研修会を終えて

今年度、第1回母親委員会研修会は、7月22日、島根公民館を会場に行いました。

今回は日本赤十字島根県支部、澤田和憲先生をお迎えし「災害に学ぶ」という演題で、東日本大震災での救援活動の体験談等をお話頂きました。幸いにも山陰では災害が少ないのですが、会場いっぱい60名の方々の参加に、災害に対する皆さんの関心の高さを感じました。

また、ハイゼックスという特殊なビニール袋を使って協力しながらの炊飯は、ほとんどの方が初めてで、母親委員の方々の交流、コミュニケーションの場にもなり良かったと思っています。

東日本大震災を風化させず、災害にあった時の心構えを研修会を通して改めて感じて頂き各単Pの活動に役立てて頂けると嬉しく思います。本当にたくさんの方々の参加、ありがとうございました。

（母親委員長　金津五美）

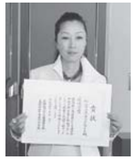
島根県PTA連合会研修大会

8月5日に県P研修大会（益田大会）が益田市のグラントワで『生命』を主題に約400名の参加により行われました。松江市P連からは約50名が参加しました。

記念講演の中で、『子どもたちは居心地のいいところを探す』とお話があり、家庭、学校、地域が正しい居場所を子供たちに提供できるように努力が必要だと痛感しました。

長時間の移動で大変でしたが、素晴らしい研修大会でした。

おめでとうございます
島根県小中学校広報誌コンクール 津田小学校最優秀賞受賞！



津田小学校PTA広報部長となり3年目の今年、念願だった最優秀賞をいただくことができ、制作に携わったPTA執行部の仲間や広報部員の皆さん、寄稿していただいた保護者の皆さんをはじめとした多くの人々と喜びを分かち合いました。

PTA活動の中でも、こうして対外的に評価をしていただける広報誌制作というのは非常にやりがいのある活動です。今後ともよりよい学校広報誌を目指していきたいと思います。ありがとうございました。

編集後記

会報について素人の17人があれやこれやと話し合ってやっとできた会報はいかがでしょうか。子ども達の姿を伝えたいという皆さんの熟い想いが原動力になって発行できました。

これからも子ども達のキラリとした姿をお伝えすべく頑張りたいと思いますのでご協力宜しくお願いいたします。

■森　久仁子（川津小学校）

「前期会報は見てのお楽しみです。」と理事会で高らかに宣言してから３ヶ月。その成果をやっとお見せする事ができました。

東出雲町の小中４校が新たに加わり、より新しく魅力あふれる会報にしたいと熟い気持ちで話し合いながら誕生させた「きらりまつえ」はいかがでしたでしょうか。是非ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

■吉松自保美（島大附属中学校）

■平成24年度会報委員（ブロック順、敬称略）
舟木　禎久（第一中）　山根　純一（生馬小）
吉松自保美（附属中）　藤原　資之（附属中）
森　久仁子（川津小）　田中　由美（第三中）
川上　秀明（湖南中）　土江　拓也（竹矢小）
狩野　睦子（大庭小）　内田　磯弘（大谷小）
団野　晶夫（宍道小）　山崎日出夫（鹿島中）
山﨑　清治（秋鹿小）　吉長美奈子（八雲中）
若槻佐知子（意東小）　野田　浩（美保関中）
門脇　雄一（八束学園）

■編集／市P連会報委員会
■印刷／株式会社谷口印刷

松江市PTA連合会会報
平成24年10月1日発行

きらりまつえん

INDEX　vol.61

●page 1……平成24年度松江市PTA連合会役員紹介
●page 2～4……みんなの学校✦きらりの声
●page 5……〈特集〉登下校安全対策アンケート
●page 6……市P連情報発信

1年間よろしくお願いします！

平成24年度 松江市PTA連合会役員紹介

松江市PTA連合会会長　津森　良治〔本庄中〕

松江市PTA連合会の会長の重責を担うこととなりました。会員の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願いします。さて、会長をお引き受けし、ご挨拶に伺った先で「本庄ゴズ」という言葉を久しぶりにお聞きしました。その折、私はその俗称を成長していく過程で幾度も言われた記憶を思い出しました。ゴズはマハゼのこと、その姿、形に似合わず白身であっさりとして、歯ごたえのあるおいしい魚です。その昔、中海ではよく採れていましたが、近年は漁獲量が激減しています。「見た目はユニークで今一つ、しかしその中身は高級、そして貴重な存在」そんな会長像を目指して頑張っていきます。

副会長　永井嘉代子〔雑賀小〕

今年度副会長をさせていただく永井です。大役でわからない事や緊張の連続ですが、よろしくお願いします。

副会長　小室　勝〔玉湯中〕

何事もコミュニケーションが一番大切！私自身が楽しめるよう頑張ります。よろしくお願いします。

研修委員長　金坂　享〔恵曇小〕

今年度松江市PTA連合会研修委員長の金坂享です。恵曇小学校から出ております。楽しく、分かりやすいPTA、研修活動を行いたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

会報委員長　吉松自保美〔附属中〕

今年度会報委員長を務めさせて頂きます。各ブロック選出の16名の会報委員さんと共に1年間頑張ります。

母親委員長　金津　五美〔島根小〕

今年度、母親委員長を務めさせて頂く、島根小の金津五美です。初めてで手探り状態ですが、各単Pの母親委員の方々と有意義な活動ができるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

メディア対策委員長　中倉　亨〔湖北中〕

こんにちは。湖北中PTAから出ています中倉亨です。普段は家畜の獣医をしています。市Pでは保護者同士話す機会が多いので楽しくて良いですね。

総務委員長　小川　正〔古志原小〕

会合、研修会などに参加し、PTA活動、子育てについてあらためて考える日々です。忙しい毎日ではありますが、皆さんと力を合わせていい活動ができればと思います。よろしくお願いします。

事務局　荒川　依子

平成23年4月から事務局をしております。会長をはじめ皆様方に助けられながら明るく・楽しく頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

東出雲町の小中学校活動紹介

昨年8月に松江市と東出雲町が合併し、新しい松江市が誕生しました。
そして今年度から東出雲町の小・中学校全4校が松江市PTA連合会に参加されました。
東出雲町の小・中学校の皆さん、どうぞよろしくお願いします。

通学合宿

揖屋小学校

揖屋小学校PTAは、毎年「通学合宿」を行っています。子どもたちが、親元から離れ、自分たちで共同生活することによって、生活技能の獲得や互いに協力し合うことの大切さを学ぶことを目的としています。活動に参加･協力する保護者や地域の大人にとっても、子どもたちをより深く理解するよい機会となっています。どのような内容なのか、昨年秋の合宿を少し紹介しますね。

月曜日、いつもなら自宅へ向かうはずの下校の行先は合宿所。合宿所に到着すると、早速夕食の買い出し。調理から片付けまで一切大人の手を借りずに自分たちでやります。初日の献立は、ご飯に肉炒め、そして豆腐とわかめの味噌汁でした。その後入浴の時間となりますが、お風呂は「もらい湯」です。予め地域の方にお願いをして、いくつかの班に分け、それぞれのご家庭でお風呂をいただきます。「もらい湯」先のご家庭も心得たもので、お風呂の後の「ティータイム」でとっても和やかな交流が持たれます。そして合宿所に戻ってから学習と反省会。その後、22：00には消灯です。初日は、なかなか寝付かれない子どもも多いようです。そのせいで2日目の朝は、起きるのが大変な子どもがちらほら…。それでも朝から掃除と朝食準備をすべて自分たちで行います。学校に間に合うようにできるかどうか、見守る大人たちもひやひやしっぱなしです。こんな調子で一週間の合宿はスタートします。日を重ねるごとに子どもたちはたくましくなっていきます。子どもって、このような機会があると急激に成長するものです。

そんな子どもたちの感想を最後にちょっとだけ紹介します。「（前略）1人でできなかったこともみんなで力を合わせて1つ1つをきちんとやることができて良かったです。それに毎日のお母さんの苦労が分かり、とても勉強になりました。一緒に手伝ってくださった保護者の方々、本当にありがとうございました」

今年も続く「通学合宿」。たくさんの参加を楽しみにしています！

自転車教室

出雲郷小学校

7月29日㈰、安全部による3年生以上の児童を対象とした自転車教室を開催しました。

参加者は3・4年生、5年生、6年生の3チームに分かれ、ジグザグ・8の字コース、周回コース、交通安全ビデオの視聴という3つのメニューを30分ごとにローテーションで行いました。周回コースでは駐在所の方の指導を受けながら校庭にかかれたコースを回り、ビデオの視聴の間には自転車屋さんに協力をお願いして自転車の点検も行いました。

気温30度をこえる暑い日でしたが、参加した約90人の児童はとても元気で、楽しそうにそれぞれのメニューに取り組んでいました。自転車事故が起こらないことを切に願っています。

つながろう、広がろう、そして楽しもう！

意東小学校

松江市PTAのみなさん、はじめまして。意東小学校は東出雲の白鳥海岸近くの丘の上にあり、中海、大山の景色も望める、素晴らしいロケーションの中で子どもたちはのびのび生活しています。

私たち保護者も子どもたち同様、のびのびとPTA活動をするため昨年度よりテーマを設けています。昨年は『つながろう、広がろう！』というテーマのもと、『朝の一人ひと立ち運動』また『PTA綱引き大会』を行いました。今年度はもっと楽しみたい！という思いから『つながろう、広がろう、そして楽しもう！』をテーマとし活動しています。

年度当初より市P連に加入させて頂きながら、意東小PTAも盛り上がっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

新校舎に移転し心機一転！

東出雲中学校

本校は、昨年8月1日に市町村合併により「松江市立東出雲中学校」となりました。また、校舎改築により昨年12月には新校舎に移転しました。

そして今年度からは、教育目標「自立貢献」のもと、小中一貫教育の推進や松江市P連の加入など、新たなスタートをしたところです。

現在、生徒数497名、P数452名、教職員数45名です。今年のPTAでは、「絆･ふれあい」をテーマとして活動を進めているところです。

みんなの学校 きらりの声

小中学校PTA活動報告

大谷ふれあい集会

大谷小学校

6月21日㈭に、子どもたちのおじいさん、おばあさん、地域の方、大谷幼稚園の園児をお迎えして「大谷ふれあい集会」を行いました。

子どもたちは、4つの縦割り班に分かれて準備を進め、当日はそれぞれ「輪投げ」、「はてなボックス」、「魚つり」、「宝さがし」のお店を開き、お客さんと一緒にお店を回るなど、ふれあいながらとても楽しい時間を過ごしました。きっと来ていただいたおじいさん、おばあさん方にも喜んでいただけたと思います。

ミニ地区集会

松江第一中学校

松江一中PTAでは、保護者と教職員が生徒の学校生活や家庭生活における状況や課題を共有し、子どもの健全育成を考えていく場として、毎年、校区を小さな地区に分けて懇談を行う「ミニ地区集会」を開催しています。今年度は、6月26日から7月3日にかけ、12の地区で、それぞれ教職員ならびに保護者の皆様にお出かけいただき開催しました。

集会では、まず、学校側から全体的な学校生活の状況について報告をいただいた後、参加者は学年単位で分かれて車座になり、各学年担当の先生を交え、ざっくばらんな雰囲気で情報交換や意見交換を行いました。1年では新生活への適応状況や部活動のことなど、2年では日常の学習や修学旅行のことなど、そして3年では受験や職場体験、携帯電話のことなどがテーマに上がり、保護者・教職員間の、また、保護者同士での意見交換が活発に行われました。

ソフトバレーボール大会

秋鹿小学校

秋鹿小学校では，PTAソフトバレーボール大会を2年ぶりに開催しました。昨年は諸々の理由で中止となり、さて今年はというときに、やはり親同士の交流、親の楽しんでいる姿を子ども達に見せるという点を重要視し、復活開催することにしました。

当日は予想を超える人数となり、好プレーよりも珍プレーが続出し、前述の目的を果たすことができたと思います。

必ずしもソフトバレーボール大会である必要はないのですが、親同士が気軽に参加でき、交流を深める機会は大切だと実感した1日でした。

体験!! 親学プログラム

八雲中学校

7月13日、八雲社会福祉センターにて「八雲町PTA連絡協議会」が開かれました。

この日は、町内の幼稚園、保育園、小学校、中学校の各園長先生、校長先生、教頭先生、PTA会長、副会長さんたちが集まり研修会を行いました。今回は進行役の先生をお招きし、"子どもに示したい大人のふるまい"というテーマで"親学プログラム"を体験しました。今年度初めての会合でしたが、初対面の方とも体験を通して和やかな雰囲気で言葉を交わすことができ、今後、連携を深めていくうえでも良い機会となりました。

本協議会は、年に数回開かれる中で各園・校の情報交換等を通じ、お互いの連携を図ることで八雲町の子どもたちの健全育成を目的とするものです。

八東学園校庭芝生化について

八東学園

前半期の学校の取り組みとして、芝生の植栽作業を行いました。子どもたちの体力向上と地域住民の憩いの場を目的とし、地域全体が、一体となり、取り組めたと思います。事前に植栽作業について、地域の皆さんのご理解をしていただき、各団体の関係者さんには早くから準備をしていただき大変感謝しております。当日の穴あけ作業は、土が硬い所があり大変でしたがスムーズに作業が行えたと思います。今後も子どもたちが伸び伸びと育っていきますよう見守っていきたいと思います。

自転車運転安全教室

竹矢小学校

竹矢小学校では、毎年地区の交通防犯協議会の皆さんや竹矢駐在所に指導をお願いして、自転車運転安全教室を行っています。今年度も6月17日㈰朝8時と10時の2部構成で、晴天の下しっかり指導していただきました。普段何気なく乗っている自転車の乗車前点検から取り回しなどの基本動作を学ぶ子供たちの目は真剣。「安全に止まる」「後方の安全確認」など、その必要性も分かりやすく、そして厳しくご指導いただき、保護者も含め気付きの多い学びの場となっています。

ビーチバレーボール大会

島大附属中学校

私達島根大学附属中学校PTAでは、去る6月23日㈯に毎年恒例のビーチバレーボール大会（男女混合9人制）を開催しました。先生方も交えての学年対抗形式にして、時には珍プレーも垣間見え、和気藹々としながら白熱したプレーが繰り広げられました。

競技前には、準備運動？も兼ねてのシッポ取りゲームや仲間探しゲームが行われ、皆が童心に帰った気になります。また、表彰式後に各学年別親睦会も行われ交流も深めました。

ミレニアムガーデンの苗植え

松江第三中学校

5月23日、PTA環境部を中心に美化委員会、地域の方々とでミレニアムガーデンの苗植えが行われました。

三中では以前より、「花に触れ合って、心豊かに育ってほしい」と願う保護者の方々が自主的に玄関などにプランターを置き、花植えや水やりなどの世話をしながら、子ども達に声をかける温かい交流がありました。

そんな中、平成11年「非行防止パイロット地区」に三中が指定され、地域をあげて健全育成に取り組むことになり、「白潟・朝日・雑賀すこやかな子どもを育てる活動推進協議会」が生まれました。子どもと大人が触れ合いながら、四季折々の花を育てる花壇を作り、憩いの場にしようとその年の12月にこの花壇が生まれたのが活動の始まりです。

毎朝、校門近くで色とりどりの花が子ども達を出迎えてくれているおかげで、清々しいスタートをきる事ができています。